

目次

はじめに 5

一九三二年の魯迅——「我々の戦死者を記念する」……………	9
一九三二年の魯迅——眉を横たえて冷やかに対す千夫の指（旧詩「自嘲」より）……………	33
一九三三年の魯迅——筆名をとりかえとりかえ雑感文を書く……………	65
一九三四年の魯迅——「火・王道・監獄」のことなど……………	95
一九三五年の魯迅——このような時代に生きている……………	133
一九三六年の魯迅——「徐懋庸に答え、あわせて抗日統一戦線の問題について」……………	155
『シヤンハイムーン』のこと……………	186
八〇歳、『両地書』を読む……………	199
あとがき……………	223